

## 小学生部会『平等ってなんだろう?』報告書

熊本県弁護士会 法教育委員会

弁護士 本田 悟 士

開催日時 : 平成22年7月24日(土)午後1時30分～午後4時30分

開催場所 : くまもと県民交流館パレア10F 会議室9

参加者 : 小学生16名

### 第1 目的

熊本県内の小学生を対象に、身近ではあるが一義的でなく、また、整理された理解が難しい概念「平等」について考えてもらうことを目的とした。

具体的には、『平等ってなんだろう?』という大テーマのもと、

- ① 「平等」と一口に言っても、その意味、考え方が多義的であること(何を等しく扱うかによって、「平等」の意味、考え方が異なること)
- ② この様々な「平等」の考え方が、実際の生活の場面毎に使い分けられていること
- ③ 「平等」な結論を導き出すための、考え方の取捨選択、方法論について考え、学んでもらうことを目指した。

### 第2 方法

#### 1 1時間目

- ① 「平等」と一口に言っても、その意味、考え方が多義的であること(何を等しく扱うかによって、「平等」の意味、考え方が異なること)

について考え、学んでもらうために、「小学校の100メートル走」という場面設定をし、寸劇をし、生徒たちの検討・話し合いを求めた。

そして、平等について

- 「条件が同じこと」
  - …スタートの平等と呼称
- 「ゴールつまり結果が同じこと」
  - …ゴールの平等と呼称
- 「調整してチャンスを同じようにすること」
  - …ハンデの平等と呼称

といった様々な考え方があることを、整理・理解させた。

## 2 2時間目

- ② この様々な「平等」の考え方が、実際の生活の場面毎に使い分けられていること

について考え、学んでもらうために、次の各場面でいかなる「平等」の考え方が用いられているかを議論し、「平等」の考え方の整理・理解を深めた。

合わせて、日常生活の様々な場面で「平等」という観点が用いられていることにも気付いてもらった。

- 試験の成績に関わらず同じ通知表の評価
- バスの優先席
- 給食で余ったデザートとじゃんけん
- 兄弟で大きさが違うハンバーグ
- お手伝いの程度に関わらず同じお小遣いの額
- 男女で違う宿題忘れのペナルティ

## 3 3時間目

- ③ 「平等」な結論を導き出すための、考え方の取捨選択、方法論

について考え、学んでもらうために、次の各場面でいかなる「平等」の考え方が用いられているかを議論し、さらに「平等」な結論を導き出すための方法を考えた。

- 席替えの場面
- リレー選手選びの場面

- 1 配布教材(1時間目～3時間目)
- 2 シナリオ(1時間目～3時間目)